

## 令和5年度第1回三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会 議事概要

開催日時：令和6年1月10日（水）18時00分～19時30分

開催方法：Web開催

出席委員：部会長 齋藤 洋一 他委員14名

欠席：委員5名

### 【議事概要】

#### （1）自殺対策について

##### ＜事務局説明概要＞

資料1から資料3-2、別紙1に基づき、「三重県の自殺の現状について」「国の自殺対策の動向について」「第4次三重県自殺対策行動計画の進捗状況について」説明を行った。

##### ＜委員からの主な意見＞

- ・子ども・若者に対する取組を行っていない市町の現状を教えてほしい。
- ・SNS相談に対応する相談員の職種を教えてほしい。また、相談内容の細かい統計は取っているのか。
- ・SNS相談の緊急時の具体的な対応を教えてほしい。精神科救急を活用するなど医療的な判断も必要ではないか。

##### ＜意見に対する回答＞

- ・子ども・若者に対する取組を行っていない市町に対しては、個別に聞き取りを行っている。今後は教育委員会等と連携しながら取組を実施していきたいと回答をもらっている。
- ・心理士、社会福祉士等が対応している。統計については、心の健康問題、勤務問題、学校問題など内容別に分類してまとめている。
- ・緊急時は、警察、児童相談所、教育委員会等と連携しながら対応している。精神科救急の活用も検討させていただく。

##### ＜意見交換＞

- ・いじめの電話相談やSNS相談では、子どもたちの心に寄り添いながら相談を受けている。必要時は関係機関と連携を図りながら子どもたちの命を守っていききたい。
- ・悩みを抱える子どもへの対応では、必要時は治療や心理検査につなぎ、早期にアセスメントすることも大切である。
- ・子どもの自殺は複雑な家庭問題等が背景にある。一時的に対応するのではなく、地域の関係機関が連携して継続的に支援していかなければならない。ま

た、SNSを通じてオーバードーズやリストカット等の情報が出回っているため、教育現場で注意喚起していただきたい。

- ・経済的な支援や制度は分かりにくいものが多いため、分かりやすく簡単に配ることができる冊子など行政の支援があると助かる。
- ・特に働き盛りの30歳代や40歳代の男性の自殺者数が多くなっている。物価の上昇等も重なり、経済的問題を抱える方がさらに困難な状況となっているため対策が必要である。

(2) 第3次三重の健康づくり基本計画（ヘルシーピープルみえ・21）中間案について

<事務局説明概要>

資料4に基づき、「第3次三重の健康づくり基本計画（ヘルシーピープルみえ・21）中間案の説明を行った。

<委員からの主な意見>

なし